

平成 29 年度 施策評価表

施策	0503	医療体制の充実	施策推進担当部	福祉保健部
施策の方針	救急医療体制の充実を図るとともに、市民病院の医療サービス向上に努める。			

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 休日・夜間における年間外来患者数（当番医と夜間初期診療センターの合計人数）	人	10,051	10,000 9,962	10,250	10,500	10,750	11,000	99.6%	90.6%
② 市民病院の年間外来患者数	人	73,986	75,700 79,240	76,500	77,100	77,700	78,300	104.7%	101.2%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

①救急医療を必要としない軽症患者について、休日においては休日当番医、夜間においては夜間初期診療センターを利用してもらうよう広報や市のホームページ、チラシ等で周知を図ることで、ほぼ目標値を達成することができた。
②平成27年7月より消化器内科医師の入職や、紹介患者数の増加により目標値を上回った。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	546,638	962,920	827,992	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	510	510	510	
	地方債	0	0	0	
	その他	163,134	164,867	150,641	
	一般財源	382,994	797,543	676,841	
	人件費	24,914	23,186	-	
フルコスト	571,552	986,106	-		

施策の概要

050301	安心して受診できる体制づくり	休日や夜間に市民が安心して医療機関を受診できるよう、大村市夜間初期診療センター、民間医療機関、市立大村市民病院及び国立病院機構長崎医療センターの連携を強化します。 また、日頃から安心して受診できる身近な「かかりつけ医」の普及促進に努めます。
050302	市民病院の機能充実	老朽化した市立大村市民病院を改築し、病院機能の充実を図るとともに、地域医療の中核病院として、「市民の生命と健康を守り、地域に根ざし、市民に信頼される病院」づくりを進めます。

【CHECK (評価)】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>夜間初期診療センターについては、平成25年5月から小児科と内科の2科診療となり、平成25年度の一日平均利用者数は、10.4人、平成28年度では、11.7人と主に内科利用者の増加により、全体での利用者数が増加し、2次3次の高度医療を担う長崎医療センターの19時～22時の患者数の減少に貢献できている。夜間初期診療センターでの内科診療は、年々認知度が上がってきているが、さらに周知に努め、小児科とともに軽症の患者の利用促進を図る必要がある。</p> <p>市立大村市民病院については、今後も引き続き2次救急医療機関として、地域医療の中核を担う必要があることから、医師の確保に努めていく必要がある。</p>
-------------------------	---

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>夜間初期診療センターは、365日休みなく夜間における軽症患者の診療を行い、長崎医療センター、市民病院の患者数の増加を抑制し、夜間における大村市の高度救急医療の機能を守っており、設置目的どおりの効果を上げている。現状において、何の問題もなく、今後も市民への更なる周知に努めていきたい。</p>
---	--

平成30年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
		事業費	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	

【評価調整委員会意見】

1	<p>施策推進担当部意見のとおり</p>	
<p>《特記事項》</p>		

【最終評価 (都市経営戦略会議)】

1	<p>評価調整委員会意見のとおり</p>	
<p>《特記事項》</p>		